ココがききたいQ&A



平山 聡（ひらやま さとし） 議員

二次元コードからスマホで質問の内容や録画が見られます。

黒部川の環境悪化防止へ護岸土砂の撤去を

Q. 特定外来種ナガエツルノゲイトウ（水草）の大繁茂による景観悪化や洪水災害の危険性に対し、香取市の認識は。

A. 黒部川のナガエツルノゲイトウの繁茂は、水流の阻害や生態系への悪影響、さらには景観の悪化につながると認識しているため、繁茂を確認したときは、維持管理者である香取土木事務所に報告しています。

Q. 護岸に溜まった堆積土砂の撤去や、来年度のレガッタ全国大会への影響、県の支援活用はどうか。

A. 香取土木事務所に確認したところ、ナガエツルノゲイトウの駆除作業と併せて、護岸に堆積した土砂の撤去も可能か、検討したいとのことです。ナガエツルノゲイトウのレガッタ全国大会への影響は、生育箇所が会場より離れているため、現時点では影響はないと考えています。

意見 香取土木事務所と密に連携を深め、駆除の時期や方法の再検討と早期対応を強く求める。

水郷おみがわ桜つつじまつりの賑わい創出を

Q. 来場者の滞在時間が短い現状への認識と、期間中に多目的スポーツ広場を活用した出店は可能か。

A. 現在も多くの来訪がありますが、以前は、露天商が立ち並ぶなど、より多くの来訪があったと認識しています。多目的スポーツ広場の出店については、水郷小見川観光協会に対し検討するよう要望していきます。

Q. 歩行者の夜間安全対策や公園内施設・清風荘の周知、公式SNSでのつつじのPR強化は。

A. 来訪者が多い土日等の合計4日間は、午後7時まで警備員を配置しています。PRについては、水郷小見川観光協会と連携し香取市ホームページやSNS等を活用し、開花情報の発信などの周知強化を図ります。

意見 食や空間を活かした工夫を施し、一日中楽しめる賑わいづくりと通年での利活用を推進してほしい。

公共施設予約システムの改善と施設改修を

Q. 予約システムの誤解を招く画面表示の改善や、放置に繋がる直前の不必要なキャンセルへの対応は。

A. 画面表示の修正については改修時期が未定であるため、改修までの間、市ホームページで予約に関する注意事項の掲載を検討します。キャンセルへの対応は、利用者にとって公平性、利便性のある方法を研究していきます。

Q. 表面の亀裂など劣化が著しい山田BGに隣接する運動広場テニスコートの改修計画と、活用できる有利な財源の想定は。

A. 現在、山田中央運動広場テニスコート改修の具体的な計画は作成されていません。改修が決定した際には、有効な財源の活用を検討していきます。

意見 予約の不公平感を早期に解消し、市民が怪我の心配なく安全にプレーできる環境整備を強く要望する。

9月定例会 14人の議員が一般質問



藤木（ふじき） 裕士（ひろのり） 議員

二次元コードからスマホで質問の内容や録画が見られます。

ペット同行避難

Q. ペットを飼っている市民は多く、災害時に「ペットをどうするか」という問題は避難をためらう理由になり得る。ペットは大切な家族。香取市のペット同行避難についての考え方は。

A. ペットの同行避難については、国がガイドラインを策定しています。香取市では、このガイドラインを参考に、飼い主がペットを連れて避難する「同行避難」を基本としています。

災害時には飼い主自身が安全でなければペットを守ることはできないため、まずは自分の安全を確保すること、また、自宅に被害がなく安全であれば、ペットの飼育環境を考慮し、留まることも考えるようお願いしています。

避難所でのペットの具体的な受入れについては、原則として、犬、猫などの哺乳類や鳥類などのうち、比較的小型のペットを想定しており、一般の避難者とは隔離した場所である車内、又は、避難所敷地内の建物の軒下など、可能な限り雨風がしのぎやすい屋外の一角に、ペット専用スペースを設け、かつケージなどの中にペットを入れ、飼い主が責任を持って管理する条件のもと、対応することとしており、現時点では、全ての指定避難所で、ペットの同行避難を可能としています。

Q. 全ての指定避難所でペット同行避難が可能でも災害時に混乱なく受け入れられるとは限らない。実際の現場では、様々な課題が出てくる。ペットを連れた避難訓練を行う考えは。

A. 現段階では、ペット同行避難訓練の実施予定はありませんが、引き続き、他の自治体の事例など、ペット同行避難の対応について調査研究をしていきたいと考えています。

地域医療・在宅医療

Q. 在宅医療の現場に携わる中で、医師だけではなく看護師・ケアマネジャー・介護職など地域で支える専門職の確保が重要。香取市では、在宅医療を担う医師及びそれを支える専門職が十分とは言えない。在宅医療・介護を担う専門職不足や医療資源の少なさについて認識しているのか。

A. 在宅医療・介護を担う専門職、医療資源については、従来からの訪問診療を行っている医療機関や訪問看護事業所に加え、訪問診療専門の医療機関も開設されている状況ですが、市内医療機関や介護サービス事業者において、医療及び介護関係従事者が充足していないといった課題があることは認識しています。

このため香取市では、看護師等の人材確保策として、「香取市看護師等修学資金貸付条例」により、医療関係従事者を育成し、市内での就業及び定住の促進に資するため、修学資金の貸し付けを行っています。

また、介護人材確保対策事業として、介護に従事する人材の確保及び定着を図り、介護サービスの質の向上に資するために介護職員初任者研修などの受講に要する費用の一部を補助しています。

意見 私自身も薬剤師として現場に立つ一人として市民の皆さんから選んでいただいた議員として現場の声を市政につなげ「市民目線」「現場目線」で香取市をより安心して暮らせるまちにするために取り組んでまいります。